

kokyoso tsushin

高教組通信 No. 12

2013年2月5日
兵庫高教組書記局URL: <http://www.hyogo-kokyoso.com> E-mail: honbu@hyogo-kokyoso.com

集めた政治資金で連日豪遊

料亭で決まる？公務員賃金・生活保護費の削減

安倍首相は、小泉政権時の官房長官時代(2005年11月～06年9月)に官房機密費を使い約11ヶ月で132回にも及ぶ「会合」=料亭通いをくり返していたことで知られています。2010年の政治資金収支報告書では2～3日に1回の料亭通いで平均6万円以上の支出でした。2011年も総額758万円余(公務員の平均年間賃金以上)の豪遊ぶりです。私たち地方公務員の賃下げや、生活保護費の戦後最悪の改悪などが、高級料亭や高級ホテルでの密談で決められていく様子が目に浮かびます。

政権の中枢をにぎる政治家の異常な金銭感覚

安倍首相の高級料亭・ホテル通いも異常ですが、安倍首相が支部長を務める自民党山口県連第4選挙区支部の政治資金収支報告書の飲食費関係の支出項目には開いた口がふさがりません。2009年～2011年の3年間で少なくとも59回、2150万円がキャバクラ、スナック、クラブへの支払いに使われています。同支部には私たちの税金から政党助成金が09年～11年の間に3550万円交付されているのです。キャバクラやスナックが政治活動の場としてふさわしいとして報告している感覚は全く理解できません。

国の予算に大きな影響を与える麻生副総理・財務相の場合はさらにひどい状況です。2009年～11年に政治資金から飲み食いに約6000万円。2011年9月13日の六本木のサロンでは1回で182万円の支出。1日100万円を超える支出が13回もあるのです。ちなみに1日での最高額は15店に394万円の支出です。その異常な金銭感覚には驚きを禁じ得ません。

政治感覚も異常 ... 公式の場での許しがたい発言

麻生副総理・財務相は、1月21日、政府の社会保障制度改革国民会議で高齢者の終末期の高額医療費を批判して「政府のお金でやってもらっていると思うと、ますます寝覚めが悪い。さっさと死ぬるようにしてもらおうなど、色々考えないと解決しない」と発言しました。

政治活動だと称して連日高級料亭やホテルのレストランに通う一方で、政府には金がないからと生活保護費や公務員賃金の大幅削減を決定していく。さらには、公式の場で平然と「さっさと死ぬるようにしてもらおう」などと発言する。政権の中枢をにぎる政治家の異常な政治感覚には大きな怒りを禁じ得ません。

生活保護費・公務員賃金を大幅削減する理由

沸点が近づいていることに、彼らは恐怖しています。この恐怖心が、生活保護や公務員に対する激しいバッシングを引き起こしているのです。宣伝によって歪められた「国民年金やパートの賃金での生活よりなぜ生活保護利用者の方が恵まれてるのか」との国民の思いが、「自分たちも、生活保護利用者と同じように保障されて当然だ。政府は何してる」という思いに切り替わる日 = 沸点が近づいているのです。

公務員も同様です。「公務員の賃金は高すぎ、身分も安定している。甘やかすな、俺たち並みにしろ」との思いが、「これだけ働いているんだ。最低でも公務員並みの生活が保障されて当然だ。企業や政府は何してる」との声に切り替わることを恐れているのです。

沸点に達しない前に、生活保護費をもっと切り下げる！公務員は賃金を下げて身分保障も取っ払え！... 料亭で高級酒を飲んでも、彼らの不安は増幅するばかりです。

世界の中でも際だつ腐敗・墮落ぶり

小泉政権時にテレビの討論番組の出演者を決定し、候補者のメディア・トレーニングを担当したのはブラップ・ジャパンの社員たちでした。「コミュニケーション戦略チーム」が気の利いたワンフレーズを考え、選挙政策やスローガンを生み出していったのです。民主党も2003年総選挙ではアメリカに親会社があるPR会社のフライシュマン・ヒラード・ジャパンに選挙を丸投げしイメージ選挙を徹底しました。

財界とアメリカの要求を、夜な夜な高級料亭で確かめ合い、後は官僚とPR会社に丸投げする。しかし、国民への恐怖心は増すばかり。いよいよ彼らは憲法を改悪し、国民統制のための強権国家作りに踏み出そうとしています。

日本国憲法が掲げる崇高な理想を忌み嫌い、困難を抱えた国民には棄民政策をとる。政権の中枢を握る政治家たちの腐敗墮落ぶりは世界の中でも際立っています。

危機を「国民のための転換」に転化しよう 高教組とともに行動を！

Occupy Wall Street(ウォール街を占拠せよ)運動のスローガン ...

われわれは、1%の人々の貪欲と腐敗をもはや我慢しようとは思わない。立ち上がる！

アラブの春(チュニジア)でのスローガン ... 人民は体制打倒を欲する！

自公政権が12月の総選挙によって復活し、再び構造改革路線にスイッチが入って社会保障の大幅削減と多国籍企業のための大型公共工事が再開されました。貧困と格差がさらにスピードを上げ拡大することは必至です。この矛盾を押さえ込むため、憲法を改悪し強権的な国家づくりも急ピッチで進み始めました。

高教組は、安倍自公政権の始動にあたり、教職員の生活・権利と教育を守るために奮闘する決意を表明します。そしてみなさんが高教組に加入し、この危機を「国民のための転換」へと転化させるために、ともに奮闘されることを訴えます。政権の中枢を握る政治家たちが恐れているように、「沸点」は近づいています。今、行動することが必要です。